

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①浜加積地区公民館(1)	浜加積地区公民館が浜加積地区福祉センターと一体化するということだが、現在の浜加積地区公民館はなくなるということか。	現在の浜加積地区公民館の建物を新しく建設する浜加積地区福祉センターの建物と繋ぐことで、福祉センターと公民館を一体的に管理したいと思っています。
②浜加積地区公民館(2)	浜加積地区公民館を浜加積地区福祉センターと一体化するという件については、地元の声は聞いているのか。	構想の段階で、各地区の町内会長と話し合いをさせていただいており、現在、設計をしているところです。
③ガードレールの設置(1)	浜加積保育園横の道路の法面の下には用水がある。法面には防草シートが貼ってあり、歩行者が側溝へ滑り落ちる危険もあるため、ガードレールの設置をお願いしていたが、どうなっているのか。	ご提言の箇所にガードレールを設置した場合、除雪した雪を用水に排水することができなくなってしまうため、デリネーター(反射材付きポール)を路肩に設置することで、除雪にも支障がない安全対策がとれると考えています。対策の方針が決まれば、町内会にお示しした上、整備したいと思います。なお、ガードレールの設置についても併せて検討をしています。
④道路の草刈り	農家は、慣習として自分の敷地以外の道路の法面まで、ボランティアで草刈りをしているが、高齢化が進み、草刈りが負担になってきている。農家人口が減少し、若い人が少なくなっているが、何か良い対策はないか。	市道や農道の法面の草刈りについては、個人では対応できないような幹線道路の法面は、業者をお願いしている部分もありますが、基本的には隣接する農家をお願いしています。町内での草刈りが難しい場合は、除草剤をお渡しすることで、対応いただいている地域もあります。除草剤は土がやせ、法面が崩れる危険もあります。難しい問題ではありますが、地域の皆様のご協力をいただきながら、環境整備を進めていくしかないと考えています。また、自分の地域を自分たちで守るという意識を醸成することも大切だと思います。

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑤ガードレールの設置(2)	中野島公民館から旧国道8号へ向かう道路(県道栗山・柳原線)において、子どもたちが用水に落ちないようにガードレールの設置を要望しているが、進捗があれば教えてほしい。	ご提言の用水は、農業用用水で、隣接する農地の方が、歩道から水管理に行くということで、転落防止柵の設置ができず、進捗が遅れています。現在、早月川沿岸土地改良区にも入ってもらいながら、解決策を検討しているところです。
⑥災害情報	災害の種類によって避難先などは変わってくることかと思うが、そのような災害の情報や避難情報などをどのような手段で市民に周知するのか。	市では、注意報や警報を携帯電話へ送信するメール配信サービスを実施しています。避難が必要な災害が発生した場合には、防災行政無線や防災ラジオ、広報車、CATV、HPでの情報発信や、登録不要の緊急速報メールなど、あらゆる伝達手段を駆使して避難情報を発信したいと考えています。市民の皆様には、日頃から災害情報への関心を持っていただくとともに、迅速に避難できるよう準備をお願いします。
⑦防災行政無線	防災行政無線は風や雨で聞き取りづらいこともある。内容を確認することはできるのか。	防災行政無線が聞き取りづらいという方には、アナログラジオの購入を勧めています。なお、防災行政無線の内容は市HPにも掲載しています。
⑧浜加積地区公民館(3)	浜加積地区公民館を建て直さずに、福祉センターと一体化させるとのことだが、浜加積地区公民館は築50年ほどが経過しているため、新しいものに建て替える必要があると思う。	浜加積地区福祉センターの建設については、地元の運営委員会や公民館の関係者、町内会長と何度も話し合いを行ってきました。浜加積地区公民館は、数年前に耐震補強工事を行ったばかりであり、使えるものは使うということで既存の建物を使っていきたいと考えているため、現段階では公民館の建物はそのままに、福祉センターを改築し一体化させることで、公民館と福祉センターの機能を共有するということで皆様のご了承を得ているところです。市の提案について、関係者の意見をお伺いした上で、設計を進めているところです。

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨虐待やいじめへの対応	虐待やいじめのニュースを見るが、早月中学校や東部小学校は大丈夫か。また、保健室登校をしている児童生徒というのは、どのような状態なのか。	虐待やいじめ、保健室登校については、本市でもあります。いじめについては、年3回のいじめ防止対策会議で、各学校の事例について、有識者に意見をもらっており、深刻な事案はありません。虐待については、市では子供たちとその親をサポートする「子ども未来サポートセンター」を開設しました。また、全ての学校にソーシャルワーカーとスクールカウンセラーを設置しており、こうした専門のアドバイスを受けながら、対応について協議しています。相談室登校をしている生徒には、集団に入っていくことを苦手としている生徒や昼夜逆転している生徒などがいます。子どもによって色々なケースがあるため、専門家のアドバイスを受けながら対応しています。
⑩浜加積地区福祉センター	浜加積地区福祉センターの建替えについて、今年度設計の予算がついた後に関係者の意見を聞くと言われたが、その後話し合いをしているのか。現在の浜加積地区福祉センターは、浜加積地区公民館よりも使い勝手がよく、利用価値のあるものだと思っている。せっかく作るのであれば、子どもからお年寄りまで集まれるような居場所づくりを考えてもらいたい。	関係の皆様と会議を開き、市の考えについてご了承いただいたところです。公民館と福祉センターを一体化させることによって、より機能が充実すると考えています。
⑪高齢者の体力づくり	高齢者の体力づくりのための取組みはあるか。	市では4～10月にかけて市体育協会と連携して、土曜日の朝にラジオ体操やヨガなどの活動を実施しています。地域包括支援センターでは、65歳以上の方の体力維持と介護予防を目的として「キラピカ体操」を推奨しています。要望があれば、公民館等で体操教室を実施することも可能です。現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体操教室の実施が難しいこともあり、ケーブルテレビでも放送しています。また、タラソピアや運動公園の遊具を使ったうんどう教室も行っています。地域包括支援センターでは、定期的に広報等でうんどう教室の参加者を募集していますので、ご確認ください。

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑫ガードレールの設置(3)	市道北野高塚線の路面から浜加積保育園の敷地までは高低差がある。道路が拡幅されたため、通行する車がスピードを出すなどして、車が保育園の敷地に転落する可能性もあると思う。除雪の問題があるとのことだが、安全対策を検討していただきたい。	心配のないようにしたいと思います。
⑬ガードレールの設置(4)	門松周辺の道(市道旧北陸街道線)は通学路だが、田んぼとの間に段差があり危険である。安全のためにガードレールを設置できないか。	後ほど場所を確認させてください。